

	参加区分	午前・午後	ブースNo.	A-1
企業・団体名	秋田県立大学		 Akita Prefectural University 秋田県立大学 	
所在地	秋田キャンパス（生物資源科学部）：秋田市下新城野字街道端西241-438 本荘キャンパス（システム科学技術学部）：由利本荘市土谷字海老ノ口84-4			
業 種	高等教育機関	設 立	平成11年4月1日	
一言でいうと、どんな仕事？	大学は、学問のセンターです。そこでは広く知識を勉強してもらうとともに、専門分野を研究し、社会にその応用を展開させることを目的としています。秋田県立大学は、地域の学問のセンターとして、専門分野の中で、地域を意識した勉強や研究、社会への適用を行っています。			
取り扱っている製品、提供しているサービス、その他取組など	教育研究メニューとして、システム科学技術学部と生物資源科学部の2分野があります。システム科学技術学部では、機械工学、知能メカトロニクス、情報工学、建築環境システム、経営システム工学という分野が学べますが、それらの分野を融合した「システム」を取り扱うのが特徴です。生物資源科学部では、応用生物、生物生産、生物環境、アグリビジネスという分野が学べます。			
業種（業界）・会社（団体）の魅力、特色	世界にない新しいものを産み出すことに参加できます。社会に踏み出す際に、就職先で大学で学んだ手法等を応用することで、会社の発展に貢献できます。教員が見守る中で新しい発想を冒険的に試すことができます。 			
地域との関わり	秋田県立大学には全員の必修科目として「あきた地域学」があります。地域の中から魅力や課題を見つけ、魅力を高める方策や課題を克服する方策を検討します。また、地元企業に出向いて各企業が抱える課題を発見し、解決策を検討して実行する科目や研究も行っています。 			
将来必要になる進路・知識	秋田県立大学は理系の大学なので、特に数学や理科に興味をもって取り組んでください。情報技術にもある程度慣れておくとうまいと思います。こうした知識があれば、人工知能やパソコンで動く設計ツールなどを手なずけることができ、クリエイティブな進路が開けます。 写真上↑：学生と教員の様子 写真下↓：カッパーフェザーイメージ			
生徒のみなさんへのメッセージ	秋田県立大学は秋田大学と一緒に電動化システム共同研究センターを立ち上げました。風力発電機やドローンのエンジンであるモーターの性能を革新的に高めるチャレンジを行っています。世界レベルの研究ができる施設「カッパーフェザー」を秋田空港近くにある廃小学校に作りました。世界レベルの研究が秋田でできることを知ってもらえればと思います。 			
HPアドレス	https://www.akita-pu.ac.jp			



写真上↑：学生と教員の様子

写真下↓：カッパーフェザーイメージ

